東京慈恵会医科大学 医学部看護学科保護者会 第6回総会 記録

日時：2024年6月22日（土）13時00分～13時35分

場所：看護学科校舎1階 大講堂

1. 開会

副会長より、出席者78名、委任状118名により、会則の第8条4項の条件を満たし、総会が成立するとの報告および開会の宣言があった。

2. 学長 挨拶

「看護学科のカリキュラムは過密であり、実習では病を抱えた人やそのご家族と近く接するため、学生には強いストレスがかかる。大学と家族、両方のサポートが必要であることから、大学からお願いして保護者会を設立してもらった。理事を中心に積極的に盛り立ててもらい、保護者会活動はとても順調に進んでいる。本日の総会では保護者会活動の様子について理事から紹介があるので、情報を広く得ていただければと思う。引き続き保護者会活動への協力をお願いしたい。」

3. 保護者会役員選任、監事選出について

会長より、資料1をもとに2024年度の理事候補者の紹介があった。また、副会長が次年度の会長を務めるとの説明があり、理事候補者と合わせて承認された。また、監事の報告があった。

4. 会長所信表明

「現在私は看護師をしており、現場では多くの学校から看護学生が実習に来ます。その中でも本学の学生は基礎知識や表現力、実習態度がよいと感じています。就職後も自分で考えて表現するスキルが高く、これは本学看護学科が少人数制教育で教員のサポートが行き届いている成果だと思います。コロナ禍が明けて世の中は変化していますが、医療の現場と看護学生の生活はいまだに制限が多く、なかなか変えることができません。このような医療現場に飛び込む子ども達をサポートするには、大学とのパイプ役になる保護者会がとても重要だと思っています。医療者の立場から、将来看護師として仲間になる学生達が夢を追い続け、安心して学校生活を送れるよう、また親の立場から、子ども達が健康で楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、理事の皆さんや先生方と情報交換を行い、よりよい学校生活のサポートができればと考えています。本年度の保護者会の大きな活動としては、初の試みとしてファブール祭に参加し、子ども達と協力してファブール祭を盛り上げていく予定です。これまでの保護者会活動を受け継ぎつつ自分達らしさを加えながら、みなさんと協力して精一杯楽しく活動していきたいと思えます。保護者の皆様、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。」

5. 2023年度保護者会活動報告と収支報告

会計担当理事より、資料2-1と2-2をもとに、2023年度の活動と収支について報告があった。

6. 2024年度保護者会活動計画と予算について

会計担当理事より、資料3-1、3-2をもとに2024年度の活動計画と予算案について説明があった。コロナ禍の4年間実施してきた附属4病院の新人看護師支援について保護者会の支援は一定の役割を終えたと判断し、本年度より実施しない。また昨今の物価上昇の影響により、4年生の卒業記念品代を増額する。予算案は全会一致で承認された。

7. 保護者会懇親会について

担当理事より、ファブール祭の開催に合わせ、10月27日（日）の午後に懇親会を開催する。企画内容を検討し、9月下旬にはご案内できると思う。多くの方の参加をお待ちしている、との案内があった。

8. ファブール祭特別企画について

副会長より、資料4をもとに保護者会によるファブール祭特別企画「椅子 de YOGA」について、どんな年齢の方でも気軽にできるプログラムを予定しているので、懇親会前に一緒に体を動かしましょうとの案内があった。

9. 看護学科長 挨拶

「お忙しい中で多くの方にご出席いただき、ありがとうございます。会長の所信表明や活動報告を聞き、2019年度の設立から着実に歴史を紡いできていることを実感しました。この春、保護者会初代会長を担ってくださった卒業生保護者様のご逝去されました。この場を借りて哀悼の意を表します。本日追加資料として、看護学科30周年記念誌に初代会長からお寄せいただいた「看護学科保護者会設立の思い」を配布しておりますので、ぜひ全文を読んでいただきたく思います。2017年6月の学生に関する情報交換会で保護者会設立の呼びかけを行い、コアメンバーの一人として手を挙げてくださった方です。ゼロから設立の準備を進めていただき、2019年度には初代会長としてご尽力くださったことに深く感謝申し上げます。その後も多くの理事が保護者会活動を引継ぎ、コロナ禍では新人看護師支援等を通して看護学科と附属4病院の間の絆を深めることに貢献いただきました。保護者の皆様におかれましては、今後も保護者会活動へのご支援をよろしくお願いいたします。最後に、看護学科設立30周年記念誌に掲載されている初代会長からの寄稿文の一部をご紹介します、私の挨拶とさせていただきます。」

【看護学科設立30周年記念誌「看護学科保護者会設立の思い」一部抜粋】

「最後に私からのお願いとして、現役保護者の皆様には、是非保護者会設立時の『親として学生を支援したい』との思いに共感を得て頂き、保護者会への積極的な参加によって継続的な学生支援の伝統を築いて頂くことを望みます」

10. 閉会

副会長より、総会への参加に対する感謝とともに、閉会の挨拶があった。

以上